

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書 特別徴収

年度	1. 現年度	2. 新年度	3. 両年度
----	--------	--------	--------

令和 年 月 日提出	栄町長 殿	() 特別徴収 () 給与支払者	所在地 〒	フリガナ	氏名又は名称	個人番号 又は法人番号	一個人番号の記載に当たっては、左端を空欄とし右詰めで記載	特別徴収義務者 指定番号	宛番号	担連当絡者先	所属 氏名 電話	内線 ()	
	フリガナ	氏名	(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア) - (イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法					
	生年月日 年 月 日	個人番号	受給者番号	1月1日現在の住所	異動後の住所	円	円	円	年 月 日	1. 退職 2. 転職 3. 休職 4. 死別 5. 支少 6. 合算 7. その他 <small>(事由・理由)</small>	職 長 欠 期 解 散 他	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	

1. 特別徴収継続の場合										
() 特別徴収義務者 指定番号	(新規) 法人番号						新しい勤務先へは、月割額 _____ 円を () 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。			
所在地	〒	フリガナ	氏名又は名称	担当者 連絡先	所属 氏名 電話	受給者番号		納入書の要否 <small>(新規の場合のみ記載)</small>		
				内線 ()		() 右から 番号を 記入	1. 必要 2. 不要			

2. 一括徴収の場合			
() 右から 番号を 記入	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和6年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	徴収予定日 月 日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額) 円
左記の一括徴収した税額は、 () 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。			

3. 普通徴収の場合			※市町村記入欄
() 右から 番号を 記入	1. 異動が令和5年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和6年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため		

御注意
 1 黒のボールペン又はペンで記載してください。
 2 「宛番号」の欄には、特別徴収税額通知書に記載された整理番号を記載してください。
 3 給与の支払を受けなくなった者が、新しい勤務先において特別徴収の継続を希望する場合には「異動後の未徴収税額の徴収方法」欄の枠内に「1」と記入することにも、「1. 特別徴収継続の場合」欄に必要事項を記載してください。
 4 一月一日から四月三十日までの間に退職した者に未徴収税額がある場合は、一括徴収することが義務づけられています。